

# 平成 26 年度 事業計画

## 総 括

公益社団法人 大阪府放射線技師会  
会長 牧 島 展 海

平素は本会事業の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。本会は公益社団法人として認可され 1 年が経過しました。府民が求めている診療放射線技師に対する要望に応える事業、業務の拡大に向けた事業に積極的に取り組んで行きます。また、診療放射線技師の資質向上に向けた活動を重視し今まで以上に府民医療の向上ならびに健康維持に寄与するために会員の皆様と共に学びながら、府民に安全で安心な医療を提供できるよう取り組んで行く所存です。

平成 21 年に厚生労働省から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が通知され、診療放射線技師に対して画像診断における読影の補助、放射線検査相談を今まで以上に実施する事が求められるようになりました。一枚の画像が、患者さんの明日に繋がるという自覚を持ち

診療放射線技師の地位向上には、責任が必ず付いてきます。そのためにも読影力を高め信頼できる画像の提供が必要となります。

本会は、日放技と共に、新人診療放射線技師を対象としたフレッシャーズセミナーを 8 月に開催いたします。新人が社会人・医療者として勤務するために必要である、医療安全・感染予防対策・エチケットマナー・解剖学などの基礎知識と技術を習得する事を目的としています。

平成 26 年度の近畿地域事業は、10 月 5 日に野球大会を滋賀県高島市今津総合運動公園で、平成 27 年 1 月 18 日に囲碁大会を和歌山県で、学術大会は、平成 27 年 2 月 15 日（日）に奈良県社会福祉総合センターで開催いたします。

第 30 回日本診療放射線技師学術大会・第 21 回東アジア学術交流会が平成 26 年 9 月 19 日～21 日の 3 日間、大分県の別府国際コンベンションセンターにおいて開催されます。会員の皆様には多数の参加をお願いいたします。

診療放射線技師はチーム医療において医師の診断を補助し、チーム医療におけるリーダーシップを発揮し、良好なチームワークを構築するように努めてまいります。大阪府放射線技師会は、専門技術を磨き、患者さんの明日のために、放射線技師会という職能団体の未来を明るいものとするために活動していく所存であります。今後とも会員の皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

本会の事業に付きましては総務より報告があります。

## 4. 平成 26 年度 事業計画

### 府民への放射線医療に関する知識の普及啓発を行う事業（公 1）

#### 1. みんなのくらしと放射線展

(内 容) 他団体（後述の（開催形態））と共に、府民に対して、放射線関連の情報公開と体験学習を開催している。

体験学習等を通して、府民が放射線への理解と関心をもってもらい、健康促進や疾病予防を啓発できるような事業内容としている。

また、大人だけでなく子供と一緒に参加できるようなイベントを開催している。

各担当スタッフは、当法人会員である。

以下にその主な内容を示す。

- 放射線診療に関するパネルの展示

診断に使用している写真等を展示して、がんの患部等がどのように写っているのか観察してもらう。

質問があればスタッフが説明、助言を行う。

- 放射線を使った医療画像のしくみ

放射線から、どのようにすれば写真ができる、診療に役立つかを説明することによって、なぜ放射線が必要なのかを理解してもらう。

- 検査の内容紹介

放射線検査にはさまざまなものがある。そこで、放射線検査を安心して受診できるように、各検査の内容及び必要性を説明する。

- 放射線の軌跡を見る実験

通常では目に見えない放射線の軌跡を見る事によって、放射線に対しての知識を学び理解してもらう。

- 透視画像の実験

安心して医療を受けてもらうため、さまざまな物質がどのように画像として映るのか実験を行い、放射線について理解してもらう。

- 最新放射線医療機器の紹介

最新鋭の放射線医療機器を紹介することで、より医療に関心を持ってもらう。

- 医療被ばく相談コーナー

府民への放射線診療に対する不安を解消するために、相談コーナーを設置し適切な助言を行う。

(対象・人数) 一般府民・約1300名（平成25年度実績）

(募集方法) ポスター、当法人ホームページ、会報、チラシ、新聞

(場 所) 大阪科学技術館（大阪市西区）

(実施期間) 毎年8月に3日間開催

(参加費用) 無 料

(開催形態) 公立大学法人 大阪府立大学、独立行政法人 日本原子力研究開発機構、

一般財団法人 電子科学研究所、一般財団法人 日本原子力文化振興財団、

一般社団法人 大阪ニューカリアサイエンス協会、公益社団法人 日本アイソトープ協会、

一般社団法人 日本原子力学会関西支部、関西原子力懇談会との共催

(開催費用) 各共催団体が負担

(法人の役割) 放射線の使用は、医療関係、工業関係、食品関係、エネルギー関係など多岐にわたるが、当法人は特に医療関係で利用されている放射線について、体験コーナー、相談コーナーを設けており、府民により一層安心して放射線診療を受けてもらうことで健康の維持とさらなる保健・福祉の向上を図ることが当法人の役割である。

## 2. 健康まつり（摂津市保健センター依頼事業）

(内 容)	市町村等が開催する健康啓発イベントにおいて、放射線診療に関するパネル展示等を行い、府民の健康に対する意識、放射線医療への理解と関心を高める。
(対 象)	一般府民
(募 集 方 法)	摂津市広報での告知、当法人ホームページ、会報
(場 所)	摂津市立保健センター
(実 施 期 間)	毎年11月頃
(参 加 費 用)	無 料
(依 頼 元)	摂津市保健センター
(依 頼 内 容)	健康に関する催し物及び展示コーナーの設営
(補 助 金 等)	摂津市保健センターからの補助金や委託金はなし
(法 人 の 役 割)	当該事業は、摂津市からの依頼に応じて実施しているが、具体的な展示内容（例えば、検診で見つかった良悪性の写真展示や検診時の被ばく線量や超音波検査の展示）は、毎年当法人が企画した上で、「せっつ市民健康まつり実行委員会」に当法人も参加し、議論検討される。 実行委員会で決定された内容は、当法人が自主的に運営実施している。
(実 施 実 績)	現在は摂津市保健センター主催の「せっつ健康まつり」において展示や相談等を行なっている。今後は本事業と同様の「放射線医療に関する知識の普及啓発事業」を各市町村に拡大する予定である。
(出 務 報 酬)	スタッフとして参加する会員に交通費は支給しているが、会員は無償の役務提供を行なっている。

## 3. 大阪府放射線技師会学術大会

(内 容)	府民の健康・福祉、放射線医療への理解と関心を高めるため、その時々の医療トレンドを踏まえた府民を対象とした特別講演やシンポジウムを開催するとともに、医療被ばく相談コーナーを設置して府民からの相談に応じる。また、医療関係者や学生等放射線医療についてより詳細な知識を求めている方等を対象に新しい知見や最新・先端の技術等に関する会員の研究発表を開催する。  6年に1回は、公益社団法人日本診療放射線技師会と共に「近畿地域放射線技師会学術大会」として同趣旨で開催する。
	●会員研究発表 専門職・学生を対象に会員の日頃の研究結果を発表する。
	●ランチョンセミナー 学生、当法人会員を対象に医療機器の最新情報等について講演を行う。
	●特別講演 一般府民、学生、当法人会員を対象に放射線に関する講演会を開催する。
	●シンポジウム 一般府民、学生、当法人会員を対象に放射線に関するシンポジウムを開催する。
(対象・人数)	一般府民、学生、当法人会員、非会員・約300名
(募 集 方 法)	当法人ホームページ、会誌、ポスターなど
(場 所)	ホテル大阪ベイタワー
(実 施 期 間)	毎年秋に1日開催
(参 加 費)	一般府民及び学生無料、会員 2,000円、非会員技師 4,000円

## 4. 府民公開講座（大阪府放射線技師会・大阪府臨床検査技師会合同フォーラム等）

(内 容)	現状の医療情勢を踏まえた教育講座、特別講演を開催することにより府民の健康福祉の向上や疾病予防の啓発を行うために開催している。特に、がん検診や健康診断の重要性を呼びかけている。
(対象・人数)	一般府民、学生、当法人会員・約125名から150名程度
(募 集 方 法)	当法人ホームページ、会誌、チラシ、ポスター
(場 所)	大阪府医師協同組合本部（大阪市中央区）など

(実施回数)	年3回から4回程度開催
(参加費)	無料
(実施主体)	府民公開講座（例えば「女性のがん（子宮頸がん・乳がん）」）は当法人が主催する。合同フォーラムについては大阪府臨床検査技師会との合同で開催する。
(法人の役割)	がん検診、健康診断の中でも、放射線画像診断の領域を担い、府民の健康福祉の向上や疾病予防の啓発を行う。
(開催のための財源)	当法人が主催する府民公開講座は、当法人の費用として支出する。 分担金及び費用支出は会員の会費で賄っている。 合同フォーラムについては、大阪府臨床検査技師会と折半している。

## 5. ホームページでの放射線医療に関する情報提供

府民に放射線診療、検査内容、医療被ばくなどの情報を公開し、安心して放射線診療を受けてもらうことも法人の重要な役割と考えている。上記のように、セミナーを開催して直接府民へ放射線医療に関する知識の普及啓発事業を展開するが、それを補完するものとして、ホームページ上で放射線医療に関する情報を広く提供しなければならないと考えている。すなわち、ホームページの公開・運営事業を実施することにより放射線医療に関する情報提供を行い、府民の健康福祉の向上に寄与することを目的とする。

(内 容) ホームページの公開・運営事業

放射線診療に関する身近な問題の説明、診療放射線技師の役割等について、当法人ホームページで明らかにし、府民に対して放射線医療に関して情報発信を行う。

### ○ホームページの内容

#### 1. 府民の方へ

放射線診療について（Q&A 方式にて説明）

- 診療放射線技師の業務は？
- 放射線を利用する検査・治療
- 放射線を使わない検査
- 放射線は人にどんな影響を与えるか？
- 放射線（エックス線）検査をするための原則は？
- 放射線診療の正当化、最適化
- エックス線検査の危険性はどれ位か？
- 小児のエックス線検査は害がありませんか？
- 妊娠中にエックス線検査を受けましたが・・・等

#### 2. 診療放射線技師の役割

#### 3. 放射線検査の説明

#### 4. お問い合わせ窓口

#### 5. 府民公開講座案内

#### 6. 研修会の内容報告

#### 7. 学術の報告

(対象) 一般府民

(更新頻度) 隨時

## 放射線診療の研修を行う事業（公2）

### 1. 装置・機器関連セミナー

(内 容) (1) 機器管理

放射線診療や診療放射線技師が携わる検査（MRI、超音波等）を受ける府民の安心と安全を担保する為の機器管理に関するセミナーである。

(2) 医用画像情報

業務の効率化を図り、診療に役立つ画像を提供する為に知っておくべき知識について解説する。

(対象・人数) 診療放射線技師及び他職種医療従事者（看護師、臨床工学技士、臨床検査技師等） 約50名

(募集方法) 当法人ホームページ及び会報

(実施回数) 年7回程度

(場 所) 大阪府放射線技師会事務所

(参 加 費) 無 料

### 2. 画像検査セミナー

府民の安心と安全を担保する為に、先進医療への対応及び精度の向上と維持を行い、患者容態、検査の目的を把握して検査（撮影）に臨むことが最も重要であり、解剖・検査（撮影）・読影について、基礎から臨床まで網羅的に解説する。

(内 容) (1) 一般撮影

(2) 上部消化管

(3) 血管撮影

(4) CT

(5) MRI

(6) 超音波

(7) マンモグラフィ

(対象者・人数) 診療放射線技師及び他職種医療従事者約50名

(募集方法) 当法人ホームページ及び会報

(実施回数) 年6回程度

(場 所) 大阪府放射線技師会事務所

(参 加 費) 無 料

### 3. 人権関連セミナー

(内 容) 府民によりよい医療環境を提供する為には、放射線診療の技術はもちろん、コミュニケーションを大切にする姿勢や医療従事者の細やかな気配りも重要である。府民が安心して検査・治療に臨めるよう、医療現場における接遇・手話について、実技を踏まえて解説する。

(対象・人数) 診療放射線技師、他職種医療技術者約50名

## 会員の相互扶助事業（他1）

### (1) 会員名簿の作成

放射線診療に係る情報を共有するため、会員名簿を作成する。

### (2) 会員登録に伴い発生する事務・会誌等による情報伝達

年会費の徴収事務、会員管理事務等を行う。また、会誌等で会員に必要な情報伝達を行う。

### (3) 表彰事業

定款第4条の事業目的達成に貢献し、本会の発展に寄与した者を表彰する事業である。

表彰の種類は、会長表彰・会長感謝状・永年勤続表彰であり、選考基準は表彰規程による。

また、大阪府等他団体から依頼された表彰事業に対して、推薦する作業などを行っている。

この他、在阪3校の診療放射線技師養成校から推薦を受けた学業成績優秀者の卒業生に対して、公益社団法人大阪府放射線技師会会长賞を贈呈する。

### (4) 社会奉仕活動及び関連団体との協調事業

#### ○献血推進活動

献血推進活動は輸血用血液確保の支援を目的とする。既知の如く、我が国の輸血用血液の確保は、献血という善意で成り立っている。

一方、当法人は医療組織を構成する法人として、救命の基本である血液確保は重要な課題であると認識し、大阪府赤十字血液センターの要請に呼応し、十分な輸血用血液の確保のために活動している。この社会の要請を、法人として、輸血用血液が特に不足する時期に献血を推進する活動を行うことにより、輸血用血液を実質的に確保し、社会の要請に応えようとするものである。

#### ○清掃活動事業

大阪市環境局の呼びかけで行われている「大阪マラソンクリーンアップ作戦」に毎年参加し、タイアップして美しい街づくりに貢献する。

実施については当法人のホームページ上で公開している。

会員の会費ですべて賄い、無償の役務提供である。

### (5) 会員相互扶助事業

会員やその家族および関係団体との親睦を深めるための各種行事（野球大会、新年互礼会、バーベキュー等）やクラブ活動を行う。また、求人・求職情報を会報や事務所掲示板を利用して情報提供を行う。

### (6) 入会促進事業

新規会員の入会促進及び人材育成を図るため、新卒および卒後数年の未入会者を対象にフレッシャーズセミナーを開催する。

## 5. 平成26年度 予算

### 収支予算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	共 通	小 計			
知識の普及啓発事業	研修事業				相互扶助					
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費	0	0	7,360,000	7,360,000	1,472,000	0	1,472,000	5,888,000	0	14,720,000
正会員会費収入			6,600,000	6,600,000	1,320,000		1,320,000	5,280,000		13,200,000
協賛会費収入			760,000	760,000	152,000		152,000	608,000		1,520,000
事業収益	1,250,000	0	0	1,250,000	0	0	0	0	0	1,250,000
学術大会参加費収入	250,000			250,000			0			250,000
学術大会協賛金収入	1,000,000			1,000,000			0			1,000,000
受取補助金等	0	700,000	0	700,000	0	0	0	0	0	700,000
日放技受取助成金(預り金)		700,000		700,000			0			700,000
雑 収 益	0	0	0	0	170,000	0	170,000	0	0	170,000
日放技委託料収入				0	160,000		160,000			160,000
雑 収 入				0	10,000		10,000			10,000
経常収益計	1,250,000	700,000	7,360,000	9,310,000	1,642,000	0	1,642,000	5,888,000	0	16,840,000
(2)経常費用										
事 業 費	5,923,700	4,047,300	0	9,971,000	3,107,000	0	3,107,000		0	13,078,000
給料手当	507,500	217,500		725,000	435,000		435,000			1,160,000
旅費交通費	640,000	1,140,000		1,780,000	125,000		125,000			1,905,000
通信運搬費	518,000	422,000		940,000	540,000		540,000			1,480,000
消耗什器備品費	58,800	25,200		84,000	28,000		28,000			112,000
消耗品費	163,400	128,600		292,000	54,000		54,000			346,000
印刷製本費	500,000	200,000		700,000	810,000		810,000			1,510,000
会議費	350,000	140,000		490,000	25,000		25,000			515,000
光熱水料費	151,200	64,800		216,000	36,000		36,000			252,000
賃借料	2,238,400	543,600		2,782,000	297,000		297,000			3,079,000
保守料	113,400	48,600		162,000	27,000		27,000			189,000
保険料	63,000	27,000		90,000	50,000		50,000			140,000
諸謝金	240,000	1,000,000		1,240,000			0			1,240,000
記念品費				0	80,000		80,000			80,000
福利厚生行事費				0	480,000		480,000			480,000
支払負担金	270,000			270,000			0			270,000
支払助成金				0	120,000		120,000			120,000
雑 費	110,000	90,000		200,000			0			200,000

管 理 費							3,762,000	0	3,762,000	
給料手当							290,000		290,000	
会 議 費							130,000		130,000	
総 会 費							500,000		500,000	
理事会費							440,000		440,000	
旅費交通費							130,000		130,000	
通信運搬費							120,000		120,000	
消耗什器備品費							28,000		28,000	
消耗品費							54,000		54,000	
修 繕 費							10,000		10,000	
印刷製本費							350,000		350,000	
光熱水料費							108,000		108,000	
賃 借 料							756,000		756,000	
保 守 料							81,000		81,000	
保 険 料							45,000		45,000	
諸 謝 金							420,000		420,000	
交 際 費							200,000		200,000	
慶弔 費							50,000		50,000	
図 書 費							10,000		10,000	
雑 費							40,000		40,000	
経常費用計	5,923,700	4,047,300	0	9,971,000	3,107,000	0	3,107,000	3,762,000	0	16,840,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,673,700	△3,347,300	7,360,000	△661,000	△1,465,000	0	△1,465,000	2,126,000	0	0
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△4,673,700	△3,347,300	7,360,000	△661,000	△1,465,000	0	△1,465,000	2,126,000	0	0
2. 経常外増減の部										
(1)経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0			0
当期一般正味財産増減額	△4,673,700	△3,347,300	7,360,000	△661,000	△1,465,000	0	△1,465,000	2,126,000	0	0
一般正味財産期首残高				0			0	1,946,687		1,946,687
一般正味財産期末残高	△4,673,700	△3,347,300	7,360,000	△661,000	△1,465,000	0	△1,465,000	4,072,687	0	1,946,687
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△4,673,700	△3,347,300	7,360,000	△661,000	△1,465,000	0	△1,465,000	4,072,687	0	1,946,687